

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

上下水道の 料金改定を審査 経済建設委員会

経済建設委員会は6月15日に開かれ、水道事業給水条例の改正案など条例改正案3件や工事請負契約など事件案件2件、農業費を盛った今年度一般会計補正予算案の予算案件1件の計6議案を審査、すべて原案通り可決

また、高出保育園建築工事、市立体育館耐震改修工事、(仮称)ふれあいセンター・洗馬児童館建築工事についてであり、委員より入札の経過や、今回の落札が有効であったのかどうかの質問が多数出され、今後予定価格の公表について研究し再検討していくとの答弁がありました。

一般会計補正予算については、水道事業給水条例改正案は水道料金を平均5・13%引き下げ、市公共下水道及び市農業集落排水施設条例改正案は使用料を平均5・06%引き上げるものでした。

委員からは料金改定理由の根拠などで質問があり、水道料金の改定は、松塩水道用水の単価が下がったためであ

公共施設の公正な 工事請負契約を 福祉教育委員会

当委員会に付託された議案は、条例案件2件、人事案件4件、工事請負契約に関する案件が3件、予算案件と請願がそれぞれ1件の計11件で、審査の結果全て原案のとおり可決すべきものとなりました。

一般会計補正予算については、高出保育園建築工事、市立体育館耐震改修工事、(仮称)ふれあいセンター・洗馬児童館建築工事についてであり、委員より入札の経過や、今回の落札が有効であったのかどうかの質問が多数出され、今後予定価格の公表について研究し再検討していくとの答弁がありました。

地球環境にかかわる 意見書提出 総務環境委員会

6月定例会当委員会に付託された案件は6件で、条例改正については、国会議員の選挙の執行経費の基準に関する法律の一部が改正された事に伴い、国の法律に準じて規定している条例の一部改正を原案のとおり可決すべきものとなりました。

また人事案件は、任期満了に伴うもので議会の議員から選任される監査委員、市民から選任する公平委員会委員、固定資産評価委員会委員についての審議を行いました。その中で公平委員会は、職員の不利益処分不服申し立てが出されればその都度審査するが、今まで実績はないとの説明を受け、3件全て同意しました。

一般会計補正予算中歳入全般についても原案通り可決すべきものとなりました。

議員提出議案の「異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化、拡充を求める意見書」については、内容の一部を塩尻市の特性である森林に関する項目を加えた修正案を可決すべきものとなりました。



来春完成予定の(仮称)ふれあいセンター・洗馬児童館

は、市社会福祉協議会から地域包括支援センターへ派遣されている職員に係る負担金の増額に伴うものなどの説明がありました。

また委員会終了後には、有害図書等の自販機に関する条例制定を踏まえて、自販機設置箇所の現地視察を行いました。



国に対し、地球温暖化防止策の積極的な推進を求める意見書を提出



水道料金は引き下げ、下水道料金は引き上げへ(市役所2階上水道課)